

社会福祉法人 浄山会

令和7年7月25日発行 第80号

発行人 稲岡正純

編集人 広報委員会

日 華



社会福祉法人 浄山会 介護老人福祉施設つきかげ苑
京都市上京区寺町通清和院口上ル二丁目北之辺町395 - 20

【TEL】 075 (223) 1165 【FAX】 075 (223) 1166

【URL】 <http://jozankai.jp/>

レクリエーションのご紹介

記録的に早い梅雨明けがまた暑い夏を連れてきました。そんな中、暑さに負けじと施設のレクリエーションも活発化しております。父の日、母の日のプレゼント贈呈会、ポテトフライが食べたい！との要望にお応えしての出来立てポテトお届けレク、など日常を目いっぱい楽しんでおられます。アニマルセラピーでのうさぎさんとのふれあい、ミニコンサートの開催、日本舞踊の披露と各ボランティアさんにもご協力をいただき楽しい時間を過ごしていただいております。これからも色々な企画にて、ご入居者に喜んでいただければと思っております。

楽しく夏を乗り越えましょう！



アニマルセラピー



貼り絵

子どもの日



アイスクリーム大会

出前



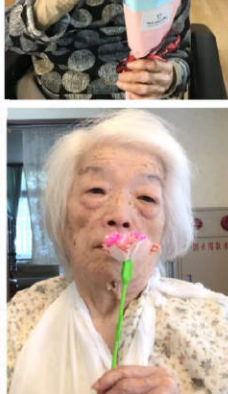
おやつレクリエーション

御霊祭



父の日

母の日



令和6年度 社会福祉法人浄山会 事業報告

I より良い介護の実践

1 安心できる生活を

新型コロナウイルスの感染症分類5類への引き下げにより、社会全体の活動は通常化しているが、医療・介護の分野では終焉を迎えておらず、今後も継続的な感染症対策を講じる必要がある。施設においては、職員一人ひとりが今後も感染症対策を講じながら質の高いサービス提供にあたる。

2 豊かな生活を送れるためのケアプランの作成

単に介助するのではなく、入居者が自身の力で生活できるようにサポートするべく、残存能力や潜在能力にも着目した。

3 医療的ケアの実施

- (1) ケアが影響する皮膚トラブルに関して、より一層の防止につながる方法や解剖生理学的根拠に基づいた対応を実施した。
- (2) 喀痰吸引にあたり、医療職が入居者ごとに貯留しやすい部位の説明とその対処法の指導を行い安全な施行に努めた。また、薬剤管理に関する事故が多発する状況があったため、原因究明と再発防止策を常に模索しアプローチをかけた。
- (3) 各医療機関で得た情報を配置医師・看護職員間で共有し、今後の医療的介入案として展開する事ができた。

4 感染予防医療と衛生管理の充実

- (1) 食中毒・感染症の予防対策として施設内研修（シミュレーションを含む）を行い、職員全員の理解を深め衛生管理の徹底と予防に努めた。
- (2) マニュアルについて、業務継続計画（感染症）の策定と並行して見直しを行った。また、新型コロナウイルス感染症に関しては、分類変更に伴い入居者の命を守る側面と社会情勢の変化の側面を念頭に置きながら、施設での取扱・運用ルールを適時変更し対応した。
- (3) 委員会（リスクマネジメント・医療的ケア委員会）および医務室主導のもと、感染症マニュアルに基づく感染症対策・対応を実施した。
- (4) 感染症の予防対策として、施設内消毒を毎日行い、入居者・職員の体調管理・衛生管理に努め、感染源の持ち込みを防止できた。
- (5) 感染症発生時は、ゾーニング・関わる職員の限定・感染物の適切な対応を行い、感染症拡大防止に努めた。
- (6) 令和6年度の当苑における感染症の発生状況は下記のとおりとなった。

【新型コロナウイルス感染】	入居者：2名	職員：5名	【インフルエンザウイルス感染】	入居者：2名	職員：8名
【食中毒（ノロウイルス等）】	入居者：0名	職員：1名	【疥 癬】	入居者：0名	職員：0名

II 看取り介護の充実

1 尊厳を大切にしたい看取り介護

「最後まで尊厳を持って過ごしていただく」ことを目指し、今年度は10名の方へ看取り介護を提供することができた。また、10名の方への看取り介護の振り返りから得られた反省点を今後の実践へ活かせることができるよう職員間で共有を行った。一方、入居者の最期に関わる中で、ターミナルケアにおける個別性と職員側の思いとの境界線や、基本的な看取り介護における職員の役割への働きかけが不十分であった。加えて、他職種連携においても改善の余地があり、より良い看取り介護の提供に向け情報共有と各職員の対応力を高めていく必要がある。終の棲家としての特別養護老人ホームの社会的役割を全うするためにも、各職種が丸となる環境を今後も目指していきたい。

2 看取り介護の支援

支援にあたる際の方法に関して、苦痛の軽減に重きをおいた働きかけができていたのではと思う。また、感染症対策を講じながら可能な限り家族との時間を提供できた。一方で、入居者本人・家族の要望、嗜好物や楽しみの提供が日々の業務の中で希薄になっているように感じられた。今一度意識を改めていかねばならない。また、介護と医療の領域、介護職員と看護職員との介入のバランスを見直す必要がある。

III 個人に適した食事の提供

毎日の食事の様子を観察し、個人の嚥下や咀嚼を確認し適正な食事量と食事形態を提供することができた。看取り介護については、状態に合わせた食事内容を検討し、無理のない提供を心掛けた。また、入居者の好きなものを家族に差し入れていただき提供することができた。

IV 地域社会とのつながり

社会は医療・介護をはじめとする一部業種を除き、コロナ禍以前の状態を取り戻し、当苑も感染対策を継続のうえで従前の状態を取り戻すべく対応を心掛け、令和6年9月に家族の居室面会、入居者の外出・外泊、ボランティア・実習の受け入れ、レクリエーションを再開し、失われていた日常生活の多くを取り戻すことができた。今年度は個の生活の再建から地域参加を含めた生活の拡大を意識した活動を行っていききたい。感染対策を含めコロナ禍から学べることも多くあり、その学びを活かすべく地域活動に参加していきたい。

2 ボランティアの受入

家事・傾聴・見守りなどのお手伝いボランティア、音楽演奏ボランティアを再始動することができた。一方で、ボランティアレクにおいては人的要因（職員の数・意識）により入居者の誘導や付き添いに課題があり、一堂に会して行う活動の加増が難しい状況であった。

なお、11月から勤行（清浄華院ご協力による朝のお勤め）を週1回の頻度から再開し15～20名ほど参加されている。

3 実習生の受入について

令和6年9月に、それまで新型コロナウイルス感染症対策として行ってきた受け入れ制限を解除。受け入れは令和7年度以降となる。

V 施設サービスの質の向上に向けての取り組み

下記の施設サービスに対する客観的な評価を受け、今後の施設運営にあたって参考となる意見等を得ることができた。

- (1) 満足度調査の実施（ご入居者・ご家族）
- (2) 第三者評価の受診（受診機関：京都市老人福祉施設協議会）

VI 人材確保・育成・定着に向けての取り組み

職員の採用・育成・定着に関する取り組みについて、「きょうと福祉人材育成認証制度」の基準・要件を包括しつつ、以下内容を実施した。

1 採用

- (1) 計13名を採用（正職員3名、契約職員1名、パート職員5名、派遣職員4名）
 - (2) 派遣職員1名をパート職員へ雇用転換
- ・令和6年10月より求人運用サービスの利用を開始し、採用活動を集中的に実施した。料職業紹介経由の採用と比べ経費を抑えることができた。

2 育成

施設の職員育成計画に基づき、下記研修を実施した。

- | | | | |
|-----------------------------|-------|------------------------------|-------|
| (1) 新入職員研修（入職時の1日研修） | 計 2回 | (2) 施設内研修（月別の研修テーマで月1回実施） | 計 12回 |
| (3) 全体研修（権利擁護・虐待防止に関する研修） | 計 2回 | (4) 全体研修（身体拘束適正化のための研修） | 計 2回 |
| (5) 全体研修（感染症及び食中毒の予防のための研修） | 計 2回 | (6) 全体研修（事故発生防止のための研修） | 計 2回 |
| (7) 全体研修（口腔ケア研修） | 計 2回 | (8) 全体研修（業務継続計画（自然災害）に関する研修） | 計 1回 |
| (9) 外部研修 | 計 15回 | | |

3 定着

職員の定着に資するよう、下記取組を実施した。

- (1) 職員満足度アンケート
- (2) 処遇改善の実施（介護職員処遇改善加算により実施）

4 課題と職員満足度向上に向けた取組目標の策定

令和6年度は退職者（10人）が過去5年平均（21.4人）で大幅に減少し入職者数を下回ったが、職員数は依然として計画人員に達していない。計画人員に達しない状況は近年続いており、国も業界全体の人材問題を受け、令和6年度の介護報酬改定において「良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり」を示し、介護人材不足のなかで、更なる介護サービスの質の向上を図るため、処遇改善や生産性向上による職場環境の改善に向けた先進的な取組を推進することが示された。これらの背景から、当苑において、現在直面している厳しい人員状況を早急に立て直し、安定した運営体制を再構築するためにはどのような方針・取組が必要かを検討し、離職・人材流出を防ぐためには、職員の満足度を向上させる視点・取組が必要であるとして年度内に「職員満足度向上に向けた取組目標」を策定し、令和7年度より具体的取組に着手することとした。

【職員満足度向上に向けた取組目標】

- 1 有給休暇の取得促進
- 2 超過勤務の削減
- 3 不適切ケアの防止
- 4 福利厚生の実施
- 5 採用の促進
- 6 人材育成
- 7 職場環境の充実（設備面）
- 8 社会的役割の向上

Ⅶ 収支状況

1 収入

入居稼働率回復を図るべく目標稼働率を94%としていたが86.5%に留まった。次年度以降、取得可能な選択肢・手段を講じて稼働率の回復に努める。

2 支出

職員数が計画に満たなかったことが主な理由で収支差額としては黒字収支に収まったが、次年度以降、職場改善づくりへ投資する原資、建物・設備の修繕・更新の費用、物価高騰による支出増加を念頭に置く必要がある。

Ⅷ 災害・感染症への対応力の強化

事業・業務継続計画（BCP）の策定について、令和5年度に策定していた自然災害に係る業務継続計画へ、令和6年度末までに策定が義務付けられていた感染症に係る業務継続計画を加え、一体的な業務継続計画（自然災害・感染症）を策定した。また、業務継続計画に基づく研修および訓練を実施した。一方で、災害・感染症が発生した場合に備えての備蓄品について、感染症に関する備えは一定確保しているが、大規模自然災害への備えとしての備蓄（水・非常食等）は、保管場所等の問題もあり国等が示す基準には満たしていないため引き続き検討を要する。

※枠の都合上一部省略しております。ホームページにも掲載しておりますので、そちらもご確認ください。

令和6年度 社会福祉法人浄山会 決算報告

貸借対照表 法人全体

令和7年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	154,247,680	流動負債	43,826,831
固定資産	448,409,769	固定負債	102,566,000
（基本財産）	399,509,927	負債の部合計	146,392,831
（その他の固定資産）	48,899,842	純資産の部	
		基本金	128,038,000
		国庫補助金等特別積立金	145,420,599
		その他の積立金	0
		次期繰越活動収支差額	182,806,019
		（うち当期活動収支差額）	19,678,950
		純資産の部合計	456,264,618
資産の部合計	602,657,449	負債及び純資産の部合計	602,657,449

事業活動計算書 法人全体

（自）令和6年4月1日 （至）令和7年3月31日

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
人件費支出	226,812,539	介護保険事業収益	346,377,781
事業費支出	50,634,425	経常経費寄附金収益	1,533,890
事務費支出	34,553,783		
利用者負担軽減額	0		
減価償却費	22,704,725		
国庫補助金等特別積立金取崩額	-7,055,132		
徴収不能引当金繰入	544,000		
サービス活動費用計	328,194,340	サービス活動収益計	347,911,671
支払利息	787,200	受取利息配当金収入	59,542
その他のサービス活動外費用	219,804	その他のサービス活動外収益	335,081
サービス活動外費用計	1,007,004	サービス活動外収益計	394,623
国庫補助金等特別積立金積立額	5,412,000	施設整備等補助金収益	5,412,000
次期繰越活動増減差額	182,806,019	その他の特別収益	574,000
		（当期活動増減差額）	19,678,950
		前期繰越活動増減差額	163,127,069
費用の部合計	512,007,363	収益の部合計	512,007,363



医務室職員紹介 ひとこと Q & A~



イラスト：花本 和範

Q1：座右の銘は？

Q2：これまで特に磨いてきたスキルは？



満 幸恵

Q1

常に変わりますが、最近は諸行無常と人間万事塞翁が馬です。

Q2

観察力です。看護師1年目から常に教えられてきましたので、人を見ると観察してしまうようになりました。

Q1

自己完結



Q2

「す」の入ったスイカには騙されません。絶対に購入前に発見する事ができます。



鈴鹿 恵

Q1

才能は有限。
努力は無限。

Q2

フルマラソンの完走を目指し、トレーニングを続けていた。（職場環境が変わり、走れないが、意欲はあります）



高田 祐治

Q1

なるようになる。
なるようにならないものはどうにもならない。

Q2

絵と楽器。



花本 和範

ご支援ありがとうございます

ご寄付とご寄贈

令和六年度 敬称略 順不同

八木彩世・木村純香・清水美代子・野田博之
江里康慧・有賀真希・高田ちずる・江藤英久
江藤喜久子・淵田洋子・北岡幸恵・井上一夫
田中耕造・中山静江・檜垣美代子・鈴木好江
黄瀬康司・松吉和子・松田京子・中村律子
梅木富久子・原悦子・續木泰子・大塚延子
清水佐多子・日高恵子・中井康道・西村幸正
宮口龍雄・飯田正巳・井上千鶴・田花洋子
新井京子・田中圭子・小関澄子・重早苗・星川忠男
松本憲二・伊藤正和・浅井一朗・大西晋平
別所敬之・森本典子・木村辰男・今西美智子
森岡裕次・華園真奈・盛川隆・川崎隆史・
上田寿美子・川崎範子・福原益子・竹島京子
株式会社朱常分店・京都水産協会・京都青果協会

ご登録いただいているボランティアの皆様

令和六年度 敬称略 順不同

工藤了子・琴伝流大正琴花水木・モンキーポッド
フラワースターズ・藤啼会・長谷陽子
岩崎あずき・新田稔・かりん・柴田香代子・原悦子
田花洋子・橋本幸一・盛川貞子・梅木富久子

ご苦情・ご要望受付

令和七年四月下旬から七月にいただきましたご家族
よりのご要望・ご意見は左記の通りです。

「なるべく形のあるものを食べさせてあげたいので
食べられる範囲の物を持参したい（嚥下等、食形態
の変更に伴い）」「体重や下肢の筋力に関して、で
きるだけ現状維持に努めてもらいたい」「食事の介
助をさせてもらいたい」「部屋に籠りがちなので散
歩に連れだしてほしい」

頂戴いただきましたご要望は、ケアプランへの立
案や各種委員会、各フロアミーティングなどで検討
し、入居者さまがより快適に過ごしていただけるよ
う努めてまいります。各行政機関の要望受付窓口
（市・区・国民健康保険団体連合会）及び第三者委
員（地元学区民生員等）へのご相談も是非ご活用く
ださい。

お知らせ

今年もやります！
ふるってご参加ください！

月華祭

9月16日（火）

詳細は後ほどお知らせします



つきかげ苑理念

私たちは、自立支援・自己決
定・生活の継続性・個性を
大切にします。

「共生（ともいき）」思想に基
づく、利用者本位の明るく、
楽しく、やすらぎのある施設
づくりに努めます。

編集後記

つきかげ苑に入職してちょうど一年が経
ちました。入職した頃はまだ、新型コロナ
感染症対策の緩和直前でしたので、入居者
様へのご面会やレクリエーション開催には
制限があり、窮屈な環境の中でお過ごし頂
いている印象でした。

日が経つにつれて、徐々に制限が緩和さ
れ、二十周年祝賀会の開催や、ボランティ
アの皆様にも来苑して頂けるようになり、
また、各フロアでのレクリエーションも増
え、入居者様の楽しまれているお姿に触れ
る機会が増えていきました。今年に入り広
報制作に携わることにもなり、一つでも多
く入居者様の笑顔や日々の様子などをお伝
えしていければ、と思っております。

